

# 産学公連携による地域イノベーションの創出 について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、経済産業省

京都府では、産学公の強固な結びつきと高度な研究開発力という京都の強みを活かし、「関西イノベーション国際戦略総合特区」に取り組むとともに、今後、「京都イノベーションベルト構想」を推進するため、今年度から京都産学公連携機構にスーパーコーディネータを配置して一層の産学公連携を進めている。我が国産業の国際競争力強化を図るため、産学公による最先端共同研究の推進や世界をリードする研究プロジェクトの実施による科学技術イノベーションの創出に対して、国において以下の措置を講じていただきたい。

京都府・京都市共同提案

## 再生医療・先端医療機器開発等の集積地・京都の国家戦略への位置づけ

- ◆ 京都には、再生医療をはじめ、高度な先端医療機関、センサーや医療計測機器など高度なものづくり産業の高い集積があり、「関西イノベーション国際戦略総合特区」の指定を得て、iPS細胞を活用した再生医療・創薬、先端医療機器などの開発に産学公が連携して取り組んでいるところであり、こうした取組みを「国家戦略特区」に取り上げていただきたい。

京都府・京都市共同提案

## 「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」の「地域イノベーション戦略支援プログラム」への採択

- ◆ 京都府が、京都市など産学公連携で本年 3 月に提案した「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」を「地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）」に採択していただきたい。

京都府・京都市共同提案

京都の事業の「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」への採択

- ◆ 京都府が京都大学等とともに「国際科学イノベーション拠点整備事業」に提案した健康・医療技術開発の事業については、本年 3 月に採択いただいたところであるが、本拠点では、「コードレス」センサーネットワークを生かした高度先進医療装置への無線電力送電等、災害等の思わぬ状況に迅速に適応し回復するレジリエントな社会づくりに寄与する技術開発を行うこととしている。本年度募集される「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」(ソフト事業) に対して、京都からは京都大学の拠点を活用した事業を提案する予定であるため、**京都の事業を採択**していただきたい。また、産学公連携を更に促進するため、新たな事業の創設や地域の中小企業者が支援を受けることが可能な制度の構築を図っていただきたい。

京都府の現状・課題等

◎ 京都の未来を考える懇話会 ～京都ビジョン 2040～ (抜粋) 平成 25 年 5 月 31 日

価値創造都市・京都

時代の変化の先頭に立ち、知恵と技術で幅広い分野で価値を創造し続け、世界の産業と生活革新をリードするイノベーションの都

- 京都イノベーションベルトの形成(京都市桂から学研都市一帯を未来型新市街地として整備する)

(京都の未来を考える懇話会構成メンバー)

- 山田 啓二 (京都府知事)
- 門川 大作 (京都市長)
- 立石 義雄 (京都商工会議所会頭/京都商工会議所連合会会長)
- 松本 紘 (京都大学総長)
- 柏原 康夫 (京都府観光連盟会長/京都市観光協会会長)
- 池坊 由紀 (華道家元池坊次期家元)
- 白石 方一 (京都新聞社代表取締役会長兼社長)

◎ 京都産学公連携機構

- 京都における産・学・公が、相互の取組を活かしながら一体となって連携・協働する体制と基盤を構築するとともに、産学公連携による「知の創出」と「知の活用」の好循環を促進することによって新事業や新産業の創出を支援し、京都経済の発展、活力ある地域づくりを実現することを目的に平成 15 年 2 月に設立

- 今年度配置したスーパーコーディネータは、大学や産業支援機関等に属するコーディネータの横断的な連携強化を図り、個々の内容・課題に応じて各機関のリソースを結集・活用。構成団体が実施するコーディネート活動の高度化支援の意味合いだけでなく、具体的なプロジェクト形成活動を京都産学公連携機構が主体的・能動的に実施することが可能

◎ 「地域イノベーション戦略支援プログラム」への提案 (H25.3)

- テーマ名：京都次世代エネルギーシステム創造戦略  
～二酸化炭素による地球温暖化とエネルギー問題の解決に向けて～  
※創電、節電、蓄電に係る研究開発を全国から 8 名の研究者を招聘して推進
- 提案者：京都府、京都市、京都大学、京都工芸繊維大学、同志社大学、京都商工会議所、(公社)京都工業会、京都府中小企業団体中央会、京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、(公財)京都産業 21、(公財)京都高度技術研究所
- 事業期間：平成 25 年度～ 29 年度
- 補助金額：最大 2 億円

◎ 「地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」への提案内容 (H25.3 採択)

- テーマ名：チャレンジライフを支える安寧な社会と革新的な産業形成国際拠点を推進  
参画企業等のポテンシャルを最大・最速に引き出すと共に地域経済との連携を推進
- 拠点：京都大学吉田キャンパス内(京都市左京区)
- 事業者：京都大学(=整備主体・補助対象者)
- 提案者：京都大学、京都府、京都市、京都工芸繊維大学、(株)堀場製作所、ローム(株)、アークレイ(株)、三菱重工業(株)、キヤノン(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、パナソニック(株)、ダイキン工業(株)、船井電機(株)、積水ハウス(株)、(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)

→京都大学構内にエネルギー・医療関連の研究開発拠点施設を新設  
(大学や企業が共同で先端技術を用いた機器などを開発する研究室を複数設ける)

<参考>

- 革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)
  - ・ 平成 25 年度文部科学省予算額 162 億円
  - ・ 大学等が総力を結集し、企業が事業化をリードする、世界と戦える大規模産学連携研究拠点を形成することにより、世界市場にインパクトを与える成果を持続的に創出する。

【京都府の担当部局】

政策企画部	戦略企画課	075-414-4348
商工労働観光部	ものづくり振興課	075-414-4849